

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>

ピックアップ

一般



いつでも母と
 山口恵子／著
 小学館

二人三脚で生きてきた最愛の母が認知症に。やがて始まった介護と自宅での看取り。「食堂のおばちゃん」作家が綴るいくつもの後悔と色あせない幸せな思い出のメモワール。

【中央】

一般



嫁ぐ日
 一狸穴あいあい坂—
 諸田玲子／著
 集英社

元火盗改方与力の祖父と麻布狸穴町に暮らしていた結寿（ゆず）。嫁ぎ先での辛い別れを経て狸穴町に戻った結寿は、再び界限で起きる事件の謎を解く。シリーズ第4作。

【葦山】

5月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	⑤	⑥	⑦	8	9
10	⑪	12	⑬	14	15	16
17	⑱	19	⑳	21	22	23
24	㉕	26	⑳	28	㉑	30
31						

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
 ◇ 両館休館日

■臨時休館のお知らせ

中央・葦山図書館ともに5月6日（水）まで臨時休館し、臨時窓口を設けています。カレンダーのとおり、各館の休館日は臨時窓口も休みとなります。詳しくは図書館HPまたは電話で確認してください。5月のおはなし会は中止します。

新着本コーナーから

- | | | |
|----|----------|---------------|
| 一般 | 去年の雪 | 江國香織／著【中央・葦山】 |
| 一般 | ひこばえ 上、下 | 重松清／著【中央・葦山】 |
| 一般 | わかれ縁 | 西條奈加／著【中央】 |
| 一般 | 今日も町の隅で | 小野寺史宜／著【葦山】 |
| 一般 | アパレル興亡 | 黒木亮／著【葦山】 |
| 一般 | サル化する世界 | 内田樹／著【葦山】 |
| 一般 | 人生の1冊の絵本 | 柳田邦男／著【中央】 |
| 児童 | ケロリンピック | 大原悦子／文【中央】 |

お知らせ

臨時休館中に利用できるサービス

予約／電話または図書館HPで受付
 リクエスト／電話で受付
 パスワードの発行／臨時窓口で受付
 予約・リクエスト資料の貸出／あらかじめ予約・リクエストを受けた資料のみ貸出
 返却／臨時窓口または返却ポストへ
 延長／1回に限り電話または図書館HPで

文化財通信

その178

「流行病」と江川坦庵公

文化財課 ☎ 055-948-1428

昨今、新型コロナウイルスが流行し、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。このような感染症を、昔の人々は「流行病」や「疫病」などと言いました。過去の新型インフルエンザやSARS、MERSなども流行病と呼べるかもしれません。そのような流行病の中で、日本人が深く関わってきたもののひとつに「天然痘」があります。天然痘は、今から3,000年以上前にはその存在が確認されており、日本には6世紀中頃（500年代）に中国・朝鮮半島との交流を通じて入ってきたといわれています。治療法のなかった当時、天然痘は感染すれば死に至る病であり、神仏に救いを求めるほかありませんでした。また、後遺症が残ることもあり、著名な歴史上の人物では、吉田松陰や伊達政宗なども天然痘の後遺症に苦しんだといわれています。

予防法としては、天然痘の患者から菌をうつさせることで抗体を作る「人痘種痘法（人痘接種法）」という方法が江戸時代中頃に中国から伝わりました。予防法としては、天然痘の患者から菌をうつさせることで抗体を作る「人痘種痘法（人痘接種法）」という方法が江戸時代中頃に中国から伝わりました。失敗も多く、万全な予防法ではありませんでした。その後、より確実な予防法である「牛痘種痘法」がオランダ船を通じて伝わります。しかし、この牛痘種痘法は、天然痘にかかった牛から採取した菌を用いる方法であったことから、「牛の病気がうつる」などの迷信が広まってしまい、あまり受け入れられませんでした。



牛痘種法を推奨した江川坦庵公

そんな牛痘種痘法を推奨した人物のひとりが江川坦庵公です。彼は、牛痘種痘法を取り入れるにあたり、最初に自身の子どもたちに種痘させました。子どもたちへの種痘が成功した坦庵公は、嘉永3年（1850）、

支配地域に『西洋種痘法の告諭』を出して領民への推奨を行います。最初に自身の子どもたちに種痘させていたということもあり、領民たちは次々に種痘を受け、全支配地域の子どもたちへの種痘が完了します。その後、明治時代初頭にも国内で何度か天然痘が流行しましたが、坦庵公の支配地域だったところでは患者があまり発生しませんでした。

スタッフ募集！ 伊豆の国市青少年活動推進委員会(青少活)

青少活は、子どもたちに学校や家庭では体験できないようないろいろな遊びを提供することを目的とし、市から補助金を受け、活動をしているボランティア団体です。

青少活では、現在スタッフを募集しています。会員は、中学生から60代まで幅広く、自分の経験や体力に合わせて無理なく活動をしています。お気軽に問い合わせください。

生涯学習課 ☎ 055-948-1461

